

平成29年度第5回富里市産業振興推進会議議事録

- 1 日 時 平成30年3月22日（木）
午後2時00分から午後3時10分
- 2 場 所 富里市役所すこやかセンター2階会議室2
- 3 出席者 寒郡茂樹委員，本田円佳委員，曾田哲也委員，
櫻井優好委員，中山健アドバイザー
(事務局) 商工観光課長，商工観光課事務局

〔会議次第〕

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 議 題
 - (1) 富里市産業振興ビジョン（案）について
 - (2) その他
- 4 その他
- 5 閉 会

〔会議概要〕

1 開 会

(事務局より開会のあいさつ)

議事録作成のため会議を録音することを説明。

2 会長あいさつ

(会長あいさつ)

事務局 本日の会議の定数の報告をした。過半数以上の委員の出席があるので、富里市産業振興推進会議の運営に関する要綱第3条第2項の規定により当会議は成立している。本日の欠席している委員の報告をした。会議は、富里市産業振興推進会議の運営に関する要綱第3条第1項の規定により会長が議長を務める。

議 長 本日は傍聴人はおられますか。

(傍聴人なし)

議 長 会議を再開します。

議題(1)富里市産業振興ビジョン(案)について

事務局 (資料により説明)

B委員 まず20ページの「成田国際空港の従業員実態調査」について、3月9日に、今年の11月の調査結果が公開となっており、富里市の人数も若干増えておりますので、1行最新のデータを追加されたら良いと思います。

次に事業承継の関係ですが、課題として事業承継を触れていて、具体的な方策として、23ページ(3)中段の「取組の一つとして、事業承継を円滑に進めることも後継者育成・確保の観点から重要な施策であると考えます。」ということで、ここで対応していますという話だと思いましたが、これを改めて読んでみると、この文章は手段と目的が逆ではないかと思えます。要は円滑な事業承継を進めるためにも、後継者育成の確保が重要なことだと思います。後継者育成を確保するために事業承継を円滑に進めることというのはおかしいのではないかと思います。

ここは、「円滑な事業承継を促進するためにも後継者育成確保が重要な施策であると考えます。」にした方が良くと思うのと、事業承継については、項目出しした方がいいのではないかと思います。最小限の修正で考えると、商工業の課題のところ、事業承継はトップバッターに入っている、商工業の振興に入れてあった方がいいかと思います。

例えば、(2) 商工業の振興のところ、一つの項目として「円滑な事業承継の促進」を立てておいて、かっこ書きで、「商工会との連携による国や県の支援施策を通じた支援」とか。市として直接持っている支援メニューではないので、商工会さんが相談対応の入口になると思います。その後、県の事業引継支援センターに繋いでいくなど、国や県の制度をうまく活用した支援を入れてみてはどうかというのが2点目です。

あと、24ページ(4)の「推進体制の確立」について、行政的に難しい面があるので、「確立」は「構築」ぐらいにしておいた方がいいのではないかと思います。

会 長

23ページ(2)の「商工業の振興」の下線部分で、「商工会が相談対応において果たす役割が重要」と書いてありますが、企業レベルとステージがあって、商工会にコミュニケーションを取られている方というのは、小規模な方が多い。ある程度になると信用金庫などの金融機関と話が出来るようになる。またある程度になると地銀や都市銀というようになる。

また商工会としての税務のお手伝いをしているところから、税理士の方など、またはその上のコンサルタントとコミュニケーションを取りながら事業戦略をするということになる。

これは、行政の商売繁盛窓口だとか国や県が用意している機関、事業承継についても事業承継センターがあって、市についても消費者関係ですが、消費者センターがあります。認定支援機関としては、税理士や金融機関も入っているわけです。

ですから、受け皿については、広くしていかななくてはならないと思いますので、商工会というよりも認定支援機関や行政なども含めて、うまくタグを組んでいけるようなことをしていくこと

が重要ということになると思います。

B 委員 私が指摘させていただいた意図は、商工会が全て対応出来るという意味ではなくて、最初に話を聞いてあげて適切なところに誘導してあげられたらいいなということで指摘しました。

 ただ、会長の言うとおりに、特出ししているためプレッシャーになってくると思いますので、私としては、この「また」以下を削除して、その代わりに（４）の推進体制の部分の記載が出てきたという解釈で構いません。

 商工会が相談を受けた時に、適切なところに誘導してあげられることが大事だと思っております。

事務局 （２）商工業の振興の①の下線部分につきましては、削除させていただき、（４）の推進体制の構築をもって、読み取っていただくということで理解してよろしいでしょうか。文言を加えたほうがよろしいでしょうか。（４）「確立」を「構築」に修正させていただきます。

会 長 もし可能であれば、「商工会が」ではなく「商工会等が」などにしていただけたらと思います。

事務局 ①のところで、上の方との文章の繋がりがあまり良くないところがあります。或いは、一番最初の窓口として商工会ということを加えているということであれば、会長の言うとおりに、「商工会や身近な金融機関などが相談対応において果たす役割」という文章を加えてもいいのかなと思いますが。

A 委員 私は、関係機関という曖昧な表現でもいいと思います。商工会という表現を入れずに。「身近な支援をいただける関係機関が相談対応に果たす役割」とした方が全体の読み取りはできると思います。

B 委員 初めの相談に来た時に、どう対応してあげるのかが重要で、そ

の意図が入るのであれば、表現はお任せします。

会 長 それでは、A委員の言うとおりに、「関係機関」とすることにいたしましょう。

アドバイザー 最初の「繋ぐ・創る・培う」というのは、産業振興ビジョンを一言で表すようなアイデンティティになると思います。

表紙に出てきますが、順番がそれぞれ逆だったりするので、揃えた方が良いでしょう。最初の表紙ですと、「繋ぐ・創る・培う」となっておりますが、下の図を見ますと、大体上から見ますので、「培う・創る・繋ぐ」という見方をしてしまう。「培う」と「繋ぐ」を逆にして、「繋ぐ」の丸を上を持ってきて、「繋ぐ・創る・培う」とした方がいいのでは。

ただ、順番で言うと「創る」が一番最初ではないか。次に「培う」が来て熟成して、「繋ぐ」繋いでいくが来ると思う。ですので、全て「創る・培う・繋ぐ」ということで、順番を合わせた方が良いでしょう。

市長の言葉も「繋ぐ」と「培う」を逆にするなど、順番を揃えた方が良いでしょう。21ページにもありますが、順番が揃っていない。やはり、創って、熟成して、繋いでいくということですから。企業ですと、創業して、成長させて、事業承継していくという形になると思います。「創る・繋ぐ・培う」という順番だと意味としてもわかりやすいと思います。

それから5ページのご指摘のあった下線部分で、「成長発展」という言葉がないので、「成長・発展」とした方がよろしいと思います。

それから、22ページについて、21ページまでこれまでの課題を出しておいて、その課題に対して、我々はこう進んでいくのだということを示しているわけです。ここは非常に重要なところだと思いますが、この図の中に「創ること」の中に、創業・就農支援、富里ブランド育成などが書いてあります。この図の中の9つの言葉がどこに出てくるのかがわからない。このイメージ図を見た方は、富里ブランド育成ということがどこに出てくるのか、その方向性が

示されているものがあるのかどうかをご覧になるのではないかと思います。それは、項目出しなどの関係用語を置いた方がいいのではないか。あるいは、文中のキーワードをここに置いたのかどうか。キーワードを置いたのであれば、文中の言葉を逆に太字にしてしまうなどの方法もある。イメージ図と中身の整合性をしっかりさせた方がよろしいと思います。ついつい項目のところを見てしまう。創業・就農支援というのがどこなのかなど。(1)や(2)などに出てくるだろうという予想のもとにページを開いていくと思いますので。

A委員 (事務局への質問) 前に逐条解説的なものを入れると読みやすいということがあったが、例えば6次産業化支援というのは、24ページの大見出し4の(2)というような表記を入れることで読み取れるのではないか。果たして、人材育成とはどこに書いてあるのかというような表記で作られたものではないのですか。

事務局 以前、助言をいただきまして、そのように検討してきたつもりではいたのですが、イメージ図の中に言葉を置くことによって、よりクローズアップされた形にもなっておりますので、検討させていただけますでしょうか。何度も構築については、担当と話し合いをした結果でたどり着いたところではあるのですが。あまり文章が途中から変わってしまうのはどうかというところで、今後工夫させてください。形としては大きく意味が変わらないようにしながら検討させていただいて、改めさせていただければと思います。

A委員 (会長に質問) 24ページの(3)成田国際空港との関係ですが、3月に数回4者協議(国、千葉県、空港周辺9市町、成田国際空港株式会社)を実施しており、現実的なスタートラインについたということであると、24ページの(2)については、ぼやけてきてしまっているのではないかと思う。「協議を行っています」ではなく、4者協議はほとんど終了しているため、実務的な協議に入っている。どんな表現が適切か会長の意見を頂戴したい。

会 長 成田空港と共生・共栄ということで、現状の中で（２）については、４者協議は今後も続くと思います。

B 委員 更なる機能強化策については、４者協議会で最終合意ということになりました。

（２）の関係では、地域振興策についての基本プランについて決定が下りたが、結局具体性がまだないので、来年１年間、関連調査を進めながら、平成３１年度に具体的なプランを作るという動きがあります。そういう意味では、実施プランを作るにあたって、今後も協議することは、続くと思いますので、（２）の内容でも問題ないかと思います。

（１）で、「強化策について検討が始まっています」と記載していますが、強化策については、最終合意を得た状態だと思います。

A 委員 逆に強化策も含めた、最近のお知らせいただいている文書のほうが、極めて現実的な文言で明文化されていますから、それを引用した方がよろしいのではないかと。

会 長 富里の場合は、こういう限定的なことを言うことは問題があるかもしれませんが、規制緩和の部分が一番大きくなると思いますので、騒音地域に関する現実的な整備等というよりも周辺と共に、空港と共にやる中において、規制緩和をしていただくような形を取りながら、この地域に住んでもらうとか、或いは、物流の拠点を置くというようなことに、どうしてもなるのではないかと思います。

ですから、企画課に来ている文書をうまく入れ込んだ方が良いのかもしれないですね。

J 委員 先程の話で「創る・繋ぐ・培う」というのも、順番的には、「培う」方が本来先なのかなと思ったのですが、富里市として「培う」よりも「繋ぐ」こと、後継者のことなどを課題として重く捉えているのであれば、富里市のビジョンなので、先にきても良いのではないかと思います。

もう一点ですが、「観光振興」の２６ページですが、私、観光協会

で活動させていただいておりますが、既存の資源の活用として、岩崎邸やサラブレッドの発祥に地ということもやっています。さらに、もう一つフィルムコミッションの方も進めていて、もう3年目になります。

元々あった既存の資源ではないですが、新たな資源の一つとして、今まで富里市という名前を知らない方にも、ドラマや映画で名前が出ることにより、富里市をPRしています。富里市ほど同じ場所でロケをやっている自治体はなくて、「日本で一番だよ」という声も聞かれるくらいにロケも多くなっています。

今後は、俳優さんたちのサインやポスターを手元に残して観光資源にしていこうという動きもあるので、ビジョンの中に加えても良いと思います。

会 長 フィルムコミッションは実績もあるので入れ込んだ方がいいかもしれませぬね。

事務局 観光アクションプランの中には大きく扱っておりますが、追加する方向で進めていきます。

アドバイザー 既存資源の中でいいのではないのでしょうか。周りの風景等も資源ですから。

会 長 お願いしたいことは二つです。

まず一つ目は、県の中小企業元気戦略の中に入っております、「官公需」の部分を入れていただきたいと思います。

公共調達の中で大型の工事については、なかなか調達の目標というのは難しいかもしれませんが、産業を振興するということになるので。

今やっているかもしれませんが、農家の野菜は給食センター等で反映するというようなことから始まって、地元で起業しているところについては、なるべく振興のためにも使ってあげるような部分が必要ではないかと思います。

これは、県の中小企業振興条例の中の官公需施策の推進と同じような形でもっていただければありがたいと思います。

できれば、今後のアクションプランの中で、公共調達の目標数値を出していただけるとありがたいと思います。

それともう一つ、設備投資に係る新たな固定資産税の特例措置について、特に中小企業庁から新たに「ものづくり補助金」や「IT補助金」などとセットで示されて、3年間の限定ですが、これについては、各市町村が手をあげるあげないは自由ですということになっていますが、是非手をあげていただきたいと思います。

この内容は、新たな設備投資に対して、固定資産税がかかるものについては、市が条例を作って減免するということです。減免についても、2分の1からゼロまでとなっており、ゼロでないという意味がありません。ゼロになった分の固定資産税については、75%を交付金として対応する内容です。企業が新たな設備投資をすれば3年間税金がゼロになる。加えて、「ものづくり補助金」や「IT補助金」、或いは「持続化補助金」などの使い勝手の良いものについて、加対象となるので、手をあげない理由はないと思います。

既に千葉市が手をあげているという情報があります。

これについては、商工会としてもお願いしますが、市の内部で検討していただき、新たな設備投資の中でも企業誘致の中でも結構ですが、文面として入れていただければと思います。

B委員 これは国からアンケート調査があつて、既に締め切られています。各市町村がやるのかやらないのか回答しているはずですが。

事務局 アンケートは、出しております。現段階では検討すると回答しております。

B委員 22ページに、6次産業化が「創る」になった。6次産業とは、1次産業の人が2次産業、3次産業をやっていくので、培っていくものだと思います。

一方で、農商工連携の目的は、新商品開発なので「創る」と意見提出しましたが、一般的に農商工連携支援だけを見ると、「繋ぐ」ことの方が良いと思いました。農業者と中小企業者を繋ぐというイメージで良いと思います。

アドバイザー 企業の需要として「創る・培う・繋ぐ」とするか、或いは覚えやすい順番にした方がいいとか。或いは現状を見て、まずは「繋ぐ」ことがいいのか。見やすく、覚えやすければいいのかなどと思います。

B委員 まずは、「創る」がないと始まらないのでしょうけれども、培うと時間がかかるので、その前に「繋ぐ」をできるだけやろうという発想もあると思います。先生がおっしゃるとおり、「創って、育てて、繋ぐ」ということもあるため、市としてどちらに重きを置くかということになると思います。

A委員 丸の大きさも一律にして、果たして順番ということになると、こちらの丸の方がボリュームを大きくした方がいいのかなとかなどの考えもあるのかなと思います。

B委員 今回「人材」のところに、外国人という言葉も入りました。実際富里市は、人口に占める外国人の割合は、県内で一番高いようです。

A委員 農業に関する外国人労働者という話になると、住民票を置いている人たちとの認識とは異なるので、果たして外国人労働者に対する受入体制が確立できるかと言えば、公的に準ずる第三者機関がきちんとやってくれないとなかなかできないですよ。きちんとやってくると国も県も認識を持ってくれるのかなと思います。

実習生ではない外国人労働者を特異性を持って、窓口を公的機関に準ずる機関など、農協さんなら農協さんが人材派遣業をやってもらえるのが難しい。

B委員 富里市は、外国人が多いという話ですが、結婚で永住資格を取った、いわゆる労働力という形での人口ではないようです。

事務局 それでは、意見をまとめさせていただきます。

産業振興ビジョンのキーワード「繋ぐ・創る・培う」については、当初の「創る・繋ぐ・培う」という順番で統一するということで

よろしいでしょうか。それから、同じ文言が出てくる箇所については統一いたします。

それから5ページの修正いたしました、「成長発展」の間に中点を入れます。

それと20ページの成田国際空港内従業員の実態調査につきましては、最新のデータについて、情報の収集をして可能な限り含めてまいります。

それから22ページから24ページにかけて、修正を加えている部分がありましたが、それに加えて、今ご意見をいただきましたので、22ページの形を少し見直すことと、それから図の横の点の文言と本文との整合性を図り、太字強調するなどの工夫をさせていただくほか、文言のない所については、積極的に取り上げていきたいと思っております。

それから、商工業の振興というところでよろしいかと思っておりますが、公共調達について、行政の立場として文言を追加させていただきたいと思っております。

また、事業承継も同様に取り扱わせていただきます。

それから、人材の確保と育成については、事業承継の部分で円滑に進めるとありますので、これを促進するために、繋ぎの言葉をひっくり返す形で修正をさせていただきたいと思っております。

それから、24ページの「推進体制を確立」を「推進体制を構築」に変更させていただきたいと思っております。

あと、26ページの観光の振興の(2)既存資源の活用の中では文章の整合性を図りながら、フィルムコミッションの文言を加えさせていただく方向で調整させていただきます。

22ページから24ページにかけて、だいぶ修正点がございまして、具体的にどのように書き上げるかについては、こちらで検討し修正させていただきたいと思っております。

他に漏れ落ちはございませんでしょうか。

アドバイザー 表紙イメージ図は、右上が「創る」、左側が「繋ぐ」、下が「培う」ということでよろしいのではないのでしょうか。

会 長 B委員に伺いたいのですが、空港内の実態調査が出ていると思いますが、地域振興連絡協議会等で経済波及効果或いは、将来50万回になった時点での雇用の状態などはデータとして調査されておられませんか。

B委員 まだ調査していないようです。提供を受けたことはありません。

会 長 22万回から30万回になったデータというのはかなり強烈でして、空港周辺9市町の雇用だけで7万人の見込み。現在の27万回から50万回になると倍近くになるので、試算しますと空港内の直接雇用だけで、約3万人と言われている。おそらく10万人規模になると思いますので、それによると人口のスキームも変わってきますし、戦略も変わってきますので、本当はこのデータがあると良いと思っております。

B委員 先ほどの事務局の意見のまとめにおける漏れ落ちの話ですが、22ページで「創る」のところに、農商工連携が入っていますが、「繋ぐ」に位置づける方がふさわしいと思います。

また、23ページで(2)の下線の所で、「商工会」としているところを「関係機関」に修正することにしたいと思います。

会 長 B委員にお聞きします。公共調達である程度の目標数値を入れるというのは難しいのでしょうか。

B委員 県の元気戦略では、中小企業への発注割合の現状値を入れております。県全体だと74.8パーセントになりますが、市町村の方が低い。

あと、入札を担当する部署に協力いただいているが、富里市の入札制度において、現地調達に配慮する等の仕組みがあるのかどうか。現状値はあるのであれば、国へ報告等していると思われれます。

A委員 地元企業であっても、企業努力しない限り地元を優先するということは厳しいのではないかと。

会 長 大型の工事だと税金をどう使うかという議論にもなりますから、そういう話ではなくて、例えば車1台でもそうですし、全体的な産業ベースで考えた時のことなので、工事もそれなりのことですが。

大型工事だけでなく、物品調達も含めてという話です。

せっかく産業振興で地元企業を育成しようとする中で、小さなものについては、なるべく地元を使いましょうと。大きなものについては、競争性のある形で、地元はランクで入れる入れないなどあるでしょうから。それはまた別という考え方でいいと思います。

事務局 今ご意見いただきまして、それを踏まえて再度修正させていただきます。それをまた皆様に見ていただく形で取りたいと思います。

それでまた、ご意見や修正等あれば再度いただいて、そのあと、事務局と会長の方で確認して、了承していただければ公表という形手続きの方は進めていきたいと思います。

とりあえず今日の意見は修正させていただきます。見ていただく形を取らせていただきたいと思います。

会 長 その他よろしいでしょうか。よろしければ(2)その他は事務局からありますか。

事務局 今後の予定で、ビジョンが完成後は、4ページに産業振興ビジョンの位置付けに示されているように、見直し等踏まえて進めていきますが、観光アクションプランと同じように、農業と商工業部分の行動計画を策定することを考えております。30年度以降もそれも踏まえて委員の皆様にはご協力をお願いしたいと考えております。

また、新年度のスケジュールにつきましては、改めて会議等のご案内をさせていただきたいと思いますので、今時点の事務局の考え方につきましては、このように考えております。

会 長 よろしければ、議事を終了させていただきます。進行を事務局にお返しします。

事務局 ありがとうございました。

 その他不いようでしたら、会議を終了させていただければと思いますが、よろしいでしょうか。

 以上をもちまして、平成29年度第5回富里市産業振興推進会議を終了させていただきます。ご協力ありがとうございました。